

名古屋 輸出堅調感で業者間には様子見も

(名古屋) 名古屋地区の電炉メーカーはH2実勢値1万5,500~1万6,000円どころ中心に、上値1万6,500円どころ据え置き4週連続で横すべりスタートしている。市中値も前月11日に500円方上伸したあと値動きなく、需給双方様子見気配から市況はこう着状態にある。

輸出引合い価格は月初にかけて韓国筋に値上げの動きが見られる。足下H2FOB1万7,000円台に乗せていることから、今週に予定されている関東鉄源協組の3月共同輸出入札に注目が集まるものと見られている。3月年度末月を迎えて発生は若干上向き気配と見

られているが、足下は工場加工玉などの一部であり、市中老廃物は依然として低調感の声が少なくない。

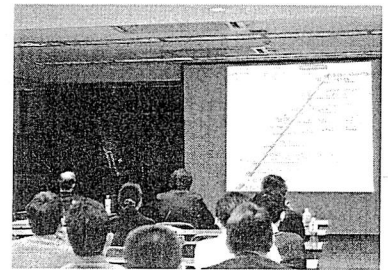
業者間には輸出の堅調感などから、市況の下振れ不安は薄いだけに共同輸出の結果待ちの恰好から様子見筋が多い。電炉筋の入荷は3月入り全般に落ち着き気味ながら、前月末にかけての入荷増で在庫が膨らんだところなど、前週にかけて荷受け制限や荷止めも見られた。普通鋼電炉筋の多くは減産下にあるため消費は増えないが、特殊鋼の生産は堅調なこともあり地区電炉3月の生産量は2月比微増が見込まれている。

4日の「第11回レアメタル資源再生技術研究会」に80人

(名古屋) レアメタル資源再生技術研究会は4日、名古屋市熱田区の名古屋市工業研究所で「第11回レアメタル資源再生技術研究会」を開き、およそ80人が参加した。

11回目となる今回は「これからどうなる(どうする)資源リサイクル」をテーマに、スズクホールディングス鈴木孝雄代表取締役会長「資源リサイクラーとしての取組みと将来展望」、経済産業省製造産業局藤井法夫希有金属室長「レアメタルを巡る最近の動きと今後の課題」、NEDO半沢弘毅主任「NEDOの資源循環に係る技術開発の方向性」など5講演が行われた。

講演の中で鈴木孝雄氏は近年のリサイクル業者の業務提携について触れ、「リサイクルメジャーのように規模が大きくなると海外に行くと勝負できない。単体では限界があるので、提携して大きくしていく方向性が日本には合っている」との考えを示した。



鈴木孝雄氏の講演模様

豊田通商、組織改編と人事異動、役員異動を内定

(名古屋) 豊田通商は4月1日付で組織改編と人事異動を発表。また6月23日付の役員異動を内定した。

組織改編では、金属本部で鋼板第一部と第二部をそれぞれ自動車鋼材第一部、第二部に名称変更。大阪金属部と東京金属部をそれぞれ西日本鋼材部、東日本鋼材部に名称変更する。

役員異動では、専務取締役 金属本部長の白井琢三氏が退任し顧問に、村田稔常務執行役員が常務取締役金属本部長に就任することを内定。6月23日開催予定の定時株主総会後に正式決定する。

【取締役の異動】6月23日就任予定

【新任取締役】▷常務取締役(常務執行役員) 村田稔

▷常務取締役(常務執行役員) 貸谷伊知郎

【退任取締役】▷専務取締役 白井琢三(顧問に就任予定)▷専務取締役 菱輪信之(豊通マシナリー社長に就任予定)

【新任監査役】▷社外監査役(現骨董通り法律事務所弁護士) 桑野雄一郎

【退任監査役】▷社外監査役 笹津恭士

◆モーター
◆室外機
◆配電盤
◆その他雑品

★衣浦港 / ★輸出

※帰り便で引取りOK! 一帯下さい。

製鋼原料全般

マックメタル株式会社

三重県伊勢市村松町1382-1
TEL(0596)37-5168 FAX(0596)37-5227
E-mail sinsk_m@solid.ocn.ne.jp

超大型ギロチン(3,500ト)稼働 大型母材積極買入

タンクローリー・ダンプボディー・ミキサー車
鉄筋ダンゴ・甲山プレス・大物建屋解体

朝日金属株式会社

名古屋市北区六が池町555
TEL052(901)2111(番代) FAX052(902)3131